

リアルオプションと戦略

2012 August

No.4


 日本リアルオプション学会
 The Japan Association of Real Options and Strategy

www.realopn.jp

 講演
 要旨

シンポジウム (2011年11月5日)

これからのリスク管理と戦略

大震災後のエネルギーと環境 —日本の選択と戦略— [茂木 源人] ————— 2

ファイナンス、リスク、そして、金融システム

—金融危機から学ぶこと— [大村 敬一] ————— 7

地震リスクの定量評価とリスクファイナンス [大野 大地] ————— 12

公開研究会報告

上下水道事業と水ビジネス —水サービスを発展させる官民協働 [玉真 俊彦] ————— 17

Capacity Switching Options under Rivalry and Uncertainty

[Afzal Siddiqui and Ryuta Takashima] ————— 21

記録／書評・図書紹介／学会ニュース

リアルオプションと戦略

2012 August
No. 4

第4号

目次

巻頭言 リアルオプションの実用化と本学会の使命……………大野 高裕	1
講演要旨: シンポジウム「これからのリスク管理と戦略」(2011年11月5日)より	
大震災後のエネルギーと環境 - 日本の選択と戦略……………茂木 源人	2
ファイナンス、リスク、そして、金融システム—金融危機から学ぶこと— ……………大村 敬一	7
地震リスクの定量評価とリスクファイナンス……………大野 大地	12
公開研究会 報告	
上下水道と水ビジネス—水サービスを発展させる官民協働…………… 玉真 俊彦	17
Capacity Switching Options under Rivalry and Uncertainty ……………A. Siddiqui and R. Takashima	21
記録: JAROS2011 研究発表大会 第6回……………	24
書評	
湊隆幸著「事業の意思決定」……………高嶋 隆太	25
大村敬一著「ファイナンス論」……………鈴木 誠	26
大村敬一・楠美将彦著「ファイナンスの基礎」……………茶野 努	28
木島正明・中岡英隆・芝田隆志著「リアルオプションと投資戦略」……………鈴木 映	30

図書紹介

ニール・ドハーティ著、森平爽一郎・米山高生監訳「統合リスクマネジメント」	吉田 靖 31
---	---------

学会だより

合同研究発表大会 論文募集のご案内

AWRIS2012 (Asian Workshop on Real Investment Strategy and Risk Analysis) + JAROS2012 研究発表大会	33
➤ 日本リアルオプション学会 評議員及び監事	35
➤ 日本リアルオプション学会 会長、副会長、理事および各委員会委員	36
編集後記	37



巻頭言

リアルオプションの実用化と本学会の使命

大野 高裕

(日本リアルオプション学会会長・早稲田大学理工学術院)

リアルオプションという言葉が登場したのは1977年MIT教授のS.C.Myersの造語に端を発すると言われております。そしてリアルオプション研究が盛んになり始めたのは1990年代あたりからですので、すでに誕生してから35年、多くの研究者が取り組み始めてから20年余と、だいぶ歴史的にも年輪を刻みつつあるという印象を受けます。リアルオプションの誕生から本格的に研究が盛んになるまで約15年を費やしているわけですが、リアルオプションが産業界で本当に実用化され、特に経営者の意思決定に本格的に役立つまでには、あとどれ位の年数がかかるのでしょうか？

リアルオプションの源流ともいえる金融工学のルーツはご存知のとおり、マーコビッツのポートフォリオ理論です。これに関する彼の最初の論文はThe Journal of Financeに1952年掲載されています。そして1970年代にはデリバティブをはじめとする金融工学の華々しい研究成果が次々と生み出されました。1980年代にはそうした研究成果が金融商品として金融業界の実務に提供され、実際、社会に役立つ成果を得て現在に至っています。マーコビッツから研究が本格化するまで約15年、そして実業界に活用されるようになるまで、25年から30年ほどかかっています。

この金融工学の歴史経過をリアルオプションに重ね合わせれば、おそらくこれから

5年から10年でリアルオプションは実用化の時代に入るのではないかと予想されます。

しかし、ただ放っておいて自然と実用化の道が開けるわけではありません。

現在のところ、率直に言えばまだまだ産業界で経営者の意思決定に日常的に利用されるには、モデルが抽象的過ぎて、また前提条件も多いために、即座に実用に供されるのはなかなか難しいかと思えます。しかし、これまで人類の歴史上、経営者はずっと個人的な卓抜した才能と経験と勘で経営意思決定を行ってきました。これに歴史的な大転換を与える科学的客観的な経営意思決定を支援する一大ツールがリアルオプションであろうと思っております。それを現実のものとするためには、実用化できるモデルの開発に注力する研究を進めていくことが必要ではないかと考えます。

日本リアルオプション学会は2006年に設立され、今年で7年目に入ります。リアルオプション分野に専門特化した学会というのは世界的にも珍しく先端的であると聞いております。これまで数々の研究論文や研究発表を発信し、大きな学術的貢献を果たしてきました。今後も純粋にアカデミックな側面でも貢献することはもちろんですが、今後はリアルオプションの実用化開発に向けた本格的な取り組みを行うことも本学会の社会的責務の一端ではないかと考えているところです。



学会だより

イベントの協賛

本学会は、その研究テーマ・領域の隣接する諸学会の研究発表大会を協賛し、また、私たちの学会の研究発表大会も、協賛をいただいております。以下、ご紹介いたします。

● 第14回 日本感性工学会大会

開催期間：2012年8月30（木）・31（金）・9月1日（土）

会場：東京電機大学 東京千住キャンパス（東京都足立区千住旭町5番）

大会テーマ：「心に響く価値づくり」

大会ページ：<http://www.facebook.com/events/378141075568037/>

● ACMSA2012: Asian Conference of Management Science and Applications

September 7-10, 2012, Jiuzhaigou-Chengdu, Sichuan, China

Organized by: Asian Association of Management Science and Applications

ウェブサイト：<http://www.aamsa.org/>

編集後記

本誌「リアルオプションと戦略」No. 4は、紙媒体で刊行する予定でありましたが、予算的に厳しい面があり、このような電子版として、ウェブサイトからダウンロードしていただく形を取らせていただきます。著者の皆様からの原稿が寄せられてから、刊行にいたるまで、たいへん、時間がかかりましたことをお詫びいたします。インターネット時代が急速に進展しつつあり、会員の皆様への速報的なニュースや記事等は、やはり、デジタル空間で、お伝えするのが最適であるのかな、と感じつつ、編集作業をいたしました。（内、服部、高森）

日本リアルオプション学会機関誌

リアルオプションと戦略 第4号

2012年8月1日 発行

機関誌編集委員会

内誠一郎、服部徹、高森寛

発行所 日本リアルオプション学会

事務局本部

早稲田大学ファイナンス研究センター

〒103-0027 東京都中央区日本橋 1-4-1 日本橋一丁目ビル 5F

事務業務担当

〒104-0033 東京都中央区新川 2-22-4 新共立ビル 2F

電話: 03-3551-9893 Fax: 03-3553-2047